



7月以降も、県内で新型コロナウイルスの新たな感染者が報告されていますが、ご家庭の皆様からのご理解とご協力のお陰で、保育参観や花火大会等の行事が実施できました事、本当にありがとうございました。本園では、これまでと同様に、手洗い・うがい、換気、手指や園舎内の消毒を始め、感染症対策を続けていきます。

なお、村山地域における、新型コロナウイルス感染症注意・警戒レベルは、7月29日現在「4(特別警戒)」となっております。今後も引き続き、「新しい生活様式」に基づいた生活や、不要不急の外出については慎重に検討する等、ご家庭での感染症対策にご協力をお願い致します。

今月中旬に、山形県でも梅雨が明け、その後は最高気温が35度を超える日が出てきております。明日からの夏休み中も、感染症対策と併せて、熱中症予防にも気を付けてお過ごしください。

熱中症にご注意ください

- ・**熱中症とは**…高温の環境で体温調節機能が乱れて、体内に熱がこもったり、急激に汗をかくことで体内の水分・塩分が奪われて起こります。痙攣、めまい、頭痛、吐き気、意識障害などの症状をきたします。特に乳幼児は、体温調節機能が十分に発達していないため、大人よりも熱中症になりやすいので注意が必要です。また、熱中症が懸念される状況下では、特に子どもはこまめな水分補給を始めとする対策と、適宜マスクを外す等、注意をしてお過ごしください。

熱中症を防ぐためのポイント



風通しの良い服装



喉が渇く前に水分補給



日差しの下では帽子を着用



体調不良時は運動を控える

RS ウイルス感染症にご注意ください

全国的に、乳幼児でRS ウイルス感染症が流行しているようです。本園でも、7月中に約10名のお子さんが罹患しました。RS ウイルス感染症とは、2歳までにほぼ100%のお子さんが少なくとも1度は罹患するといわれている呼吸器の感染症です。症状としては、大人や健康な子どもは軽い風邪のような症状が多いですが、初めて感染した場合や、乳児、心臓や肺に基礎疾患のあるお子さんは、細気管支炎や肺炎などの重篤な症状を引き起こすことがありますので、特に注意をされますことをお勧めします。

- ・**症 状**…感染してから2～8日の潜伏期間を経て、発熱、鼻水等の症状が数日続きます。軽症で済むことが多いですが、重症化する場合には、その後咳がひどくなり、喘鳴、呼吸困難等の症状が出る場合があります。症状に気付いた時は早めの受診をお勧めします。
- ・**治 療**…特効薬はありません。対症療法(症状を楽にする治療)が中心です。
- ・**予 防**…飛沫感染や共用物からの接触感染で感染します。
特に、食事前のうがい・手洗いが大切です。
- ・**登園の目安**…本園において、RS ウイルス感染症は出席停止にはなりません、普段同様、登園の目安を医師にご確認の上、幼稚園までご連絡を頂きますようお願い致します。ご家族が罹患された場合も同様をお願い致します。

